

1. カリキュラムポリシーとディプロマポリシー

<総合政策学部>

<カリキュラム・ポリシー>（教育課程の編成方針）

【学士力を身につける全学共通教育科目の編成】

全学共通教育として、ベースとなる基礎科目、社会人として必要とされる基礎的知識を修得する科目、幅広く一般教養を身につけるための科目、地域との関りから社会人としての感覚を修得する科目、キャリアを形成するために必要とされる能力を身につける科目、自分の能力を生かした一つのスキルを極めることが可能な科目を配置する。

【一人ひとりの学ぶ目的に即した専門教育の提供】

総合政策学部は、「地域・まちづくり」、「スポーツ・人間」、「国際・経営」の3つの分野を設置し、分野ごとに系統的に科目を配置すると同時に、分野をまたがって総合的な学修が可能なカリキュラム編成を行う。これにより、例えば、民間企業の経営感覚を身につけた公務員、「公」の視点を持ちつつ利益を上げるビジネスパーソン、継続的に活動する資金を獲得できる経営感覚を持ったNPO・NGO職員など、新しい時代が求める人材が育つための総合的な教育研究の機会を提供する。

【地域連携による新しいスタイルの教育の提供】

地域科目、地域志向科目など、全学共通教育科目・専門教育科目の両方で、行政、議会、企業、NPO等と協働し、学外授業・実習や学外講師招聘を講義に取り入れ、現実を重視した実践的な学びの場を提供する。

<ディプロマ・ポリシー>（卒業認定・学位記授与に関する方針）

- 地域を志向した学修を通じて地域社会に貢献する人材になる
- プレゼンテーション・コミュニケーションの能力を身につける
- 調査・分析を通じて研究テーマを探求する能力を身につける
- 系統的に学修し、進路に即した人間力の根幹を形成する
- 幅広い人間力を身につける